

春の高校野球

【滝川】第63回春季北海道高校野球大会空知支部予選が5日、滝川市営球場で開幕した。6日までに5試合が行われ、美唄尚栄が深川東を19-0の五回コールドで下すなど、5試合すべてがコールドゲームとなった。

5日は、1回戦2試合、1回戦で大勝し、8年合を行い、1試合目は、美唄尚栄と深川東が対戦。美唄尚栄が公式戦、初登板の尾崎が無安打、無失点で完封、打っては四回にランニング本塁打を放つなど投打で活躍し、19-0五回コールドで2回戦に駒を進めた。

6日は、降雨の中1回戦3試合を行い、1試合目は夕張と岩見沢が対戦。岩見沢は初回に打者10人で4点を先制すると、毎回点数を重ね、16-0五回コールドで2回戦に駒を進めた。

2試合目は、岩見沢と栗山が対戦。岩見沢は初回、一死二塁の場面で3番石田の安打と敵失で先制点を挙げると、この回連打と敵失を絡め五点を追加。その後も毎回得点を重ね、15-0五回コールドで栗山を下した。

3試合目は、深川西と滝川が対戦。滝川は二回、2死三塁の場面で8番本田の適時打で先制。勢いに乗った滝川は三回に3点、四回には、3番伊東のランニング本塁打を含む6連打で4点を追加し、10-0五回コールドで勝利を飾った。連合は初回に連打で、2死一、二塁の好機を作ったが、後が続かなかった。【三浦美香】



▼芦別の久保篤紀主将(3年)

初回の安打は、前の打者が安打で出塁し、自分もつなぐ気持ちを心がけた。昨秋も深川西・滝川工業・芦別の連合チームで出場しているが、昨秋よりも絆が深まっている。連合チームだが、ひとつのチームになっている。

第63回 春季北海道高等学校野球大会

期間 5月5日(日)～8日(水)・11日(土)・12日(日)
会場 滝川市営球場 雨天順延

